

5. 科学的研究心と思考能力

1. 科学的探究心を持ち、問題を発見し、それを解決する科学的理論や方法論を挙げられる。

A

後期研究配属

研究配属

選択クリニカル
クラークシップ
(CC)

B

クリニカル
クラークシップ
(CC)

SGL
(臨床科目)

基本臨床実習

C

医学入門)ユ
ニット③医学
入門

法医学

臨床病態学

社会医学

衛生学・公衆
衛生学

薬理学

解剖学(生体構
造学)

分子解剖学(発
生・組織・分子細
胞医学)

生理学(システ
ム生理学)

生理学(生体統
御学)

病理学
(解析人体病理
学)

病理学
(統御機構・腫瘍
学)

基礎科学)ユニ
ット①
医療心理学

基礎科学)ユニ
ット②
統計学

基礎科学)ユニ
ット③
英語

救急と生体
管理

産婦人科学

運動・感覚

小児・思春期
医学

頭頸部・耳鼻
咽喉科学

眼科

皮膚科学

形成・再建・
再生

精神医学

麻酔・集中管理・
疼痛制御

循環器

消化器

呼吸器・感染・
腫瘍・乳腺

神経・リハビ
リ

放射線医学

内分泌・代
謝・栄養

アレルギー・
膠原病・免疫

血液・造血器

腎・泌尿器

臨床医学総
論

微生物学・免疫
学

基礎科学)ユニ
ット④行動科学Ⅱ

基礎科学)ユニ
ット⑤
福祉社会論

基礎科学)ユニ
ット⑥
運動生理学

基礎科学)ユニ
ット⑦
情報科学演習

セミナー
(全部)

基礎医学総論Ⅰ)
解剖学(生体構
造学)

基礎医学総論Ⅰ)
分子解剖学(発
生・組織・分子細
胞医学)

生物学実験

生物科学)ユニ
ット①生命科学基
礎

生物科学)ユニ
ット②発生物学

特別プログラム
(2年)

基礎医学総論Ⅱ)
生理学(シス
テム生理学)

基礎医学総論Ⅱ)
生理学(生体統
御学)

化学)ユニ
ット①化学

化学)ユニ
ット②化学実験

基礎医学総論Ⅲ)
生化学・分子生
物学(代謝・栄養学)

基礎医学総論Ⅲ)
生化学・分子生
物学(分子遺伝学)

自然科学基礎
(物理)

自然科学基礎
(化学)

自然科学基礎
(生物)

統合臨床

臨床医学への
基礎医学的ア
プローチ

行動科学Ⅲ

医事法学

SGL(基礎
科目)

行動科学Ⅳ

E

医学入門)ユ
ニット②行動
科学Ⅰ

物理学

数学)ユニ
ット①数学

人文社会科学)
ユニット①生命
倫理学/心理学

人文社会科学)
ユニット②-1 哲
学

人文社会科学)
ユニット②-2 社
会学

人文社会科学)
ユニット②-3 法
学

【評価方法の概略】 詳細は各科目のシラバスに記す。

レベルD: 基本的に、基礎医学、臨床医学では学科目試験(客観試験)で評価を行う。基礎科学、基礎医学、社会医学ではこれに加え実習レポートにより評価を行う。

レベルC: 基本臨床実習EBM演習ではワークシート提出、CCにおいては指導医の観察記録、症例レポート、SGLではチューター評価により行う。

医学入門③ではSGLに準じ、さらにレポート評価も行う。法医学は科目の特性に基づきここに位置付け、客観試験、実習観察記録、レポートにより評価が行われる。

レベルB: 選択CCにおいては指導医の観察記録、症例レポートにより評価する。

レベルA: 研究配属においては、実験ノート、指導教員の観察記録、学会発表などで評価する。

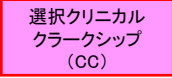
5. 科学的研究心と思考能力

2. 医学研究により得られた結果を論理的、批判的に解析し、明確に情報発信することができる。

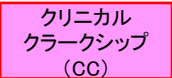
A



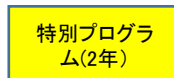
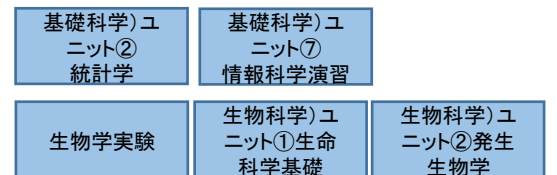
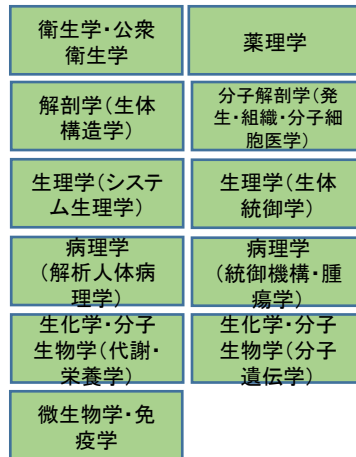
B



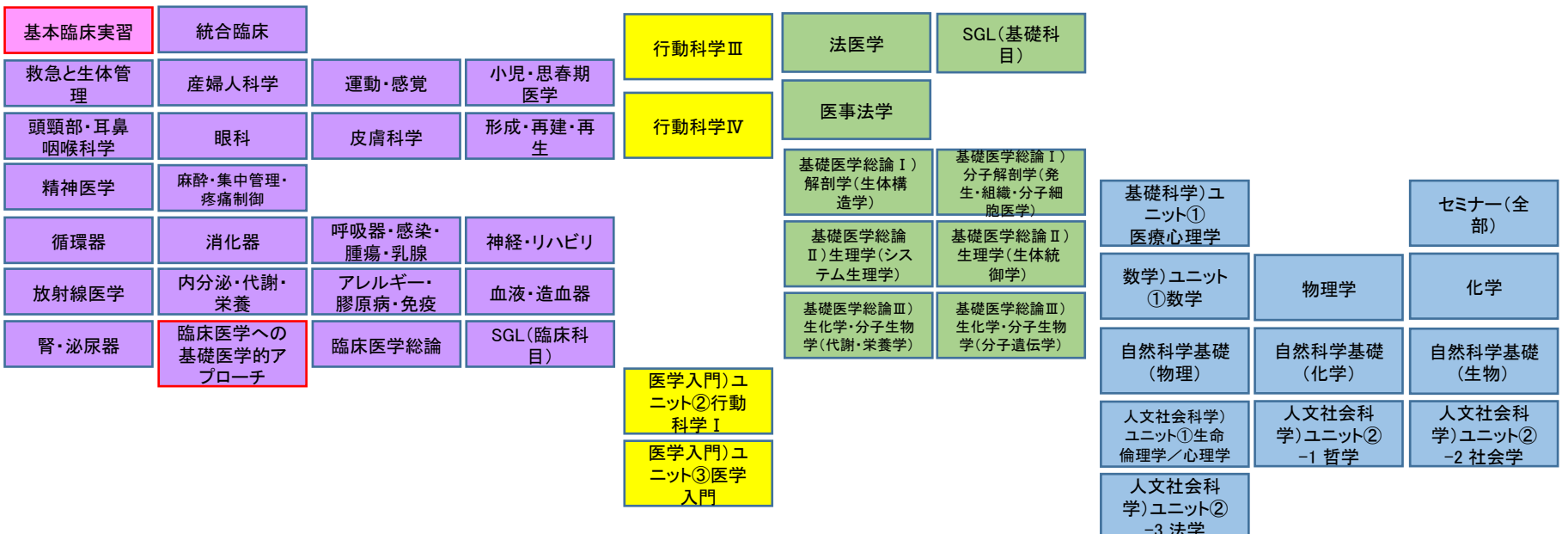
C



D



E



【評価方法の概略】 詳細は各科目のシラバスに記す。

レベルD: 基礎医学は科目試験(客観試験)で評価を行い、一部の基礎科学、基礎医学、社会医学等では実習レポートにより評価も行う。

特別プログラムではCITI Japanのe-learning受講も評価に加える。

レベルC: CCにおいては学会等の症例報告を想定したプレゼンテーションの観察記録、症例レポートにより評価する。

レベルB: 選択CCにおいては学会等の症例報告を想定したプレゼンテーションの観察記録、症例レポートにより評価する。

レベルA: 研究配属においては、実験ノート、指導教員の観察記録、学会発表などで評価する。

5. 科学的研究心と思考能力

3. 医学研究の進歩に関心を持ち、正確な情報を新たに取り入れ、理解し活用することができる。

A

選択クリニカル
クラークシップ
(CC)

後期研究配
属

研究配属

B

クリニカル
クラークシップ
(CC)

C

基本臨床実習

SGL(臨床科
目)

医学入門)ユ
ニット③医学
入門

SGL(基礎
科目)

臨床病態学 社会医学

D

| | | | |
|------------|--------------|--------------|----------|
| 救急と生体管理 | 産婦人科学 | 運動・感覚 | 小児・思春期医学 |
| 頭頸部・耳鼻咽喉科学 | 眼科 | 皮膚科学 | 形成・再建・再生 |
| 精神医学 | 麻酔・集中管理・疼痛制御 | | |
| 循環器 | 消化器 | 呼吸器・感染・腫瘍・乳腺 | 神経・リハビリ |
| 放射線医学 | 内分泌・代謝・栄養 | アレルギー・膠原病・免疫 | 血液・造血器 |
| 腎・泌尿器 | | | |

| | |
|-------------------|---------------------|
| 衛生学・公衆衛生学 | |
| 薬理学 | 法医学 |
| 解剖学(生体構造学) | 分子解剖学(発生・組織・分子細胞医学) |
| 生理学(システム生理学) | 生理学(生体統御学) |
| 病理学(解析人体病理学) | 病理学(統御機構・腫瘍学) |
| 生化学・分子生物学(代謝・栄養学) | 生化学・分子生物学(分子遺伝学) |
| 微生物学・免疫学 | |

特別プログラム
(2年)

数学)ユニット
②コンピュー
タ・リテラシー

生物学実験
生物学)ユ
ニット①生命
科学基礎

生物学)ユ
ニット②発生
生物学

E

統合臨床
臨床医学への
基礎医学的ア
プローチ
臨床医学総論

行動科学Ⅲ
行動科学Ⅳ

医事法学

| | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| 基礎医学総論Ⅰ) 解剖学(生体構造学) | 基礎医学総論Ⅱ) 生理学(生体統御学) |
| 基礎医学総論Ⅱ) 生理学(システム生理学) | 基礎医学総論Ⅲ) 生化学・分子生物学(代謝・栄養学) |
| 基礎医学総論Ⅲ) 生化学・分子生物学(代謝・栄養学) | 基礎医学総論Ⅳ) 生化学・分子生物学(分子遺伝学) |

医学入門)ユ
ニット②行動科学Ⅰ
医学入門)ユ
ニット①医学教育カリ
キュラム総論

基礎科学)ユ
ニット①
医療心理学
数学)ユ
ニット①数学
物理学
自然科学基礎
(物理)
人文社会科学)
ユニット①生命
倫理学/心理学
人文社会科学)
ユニット②-3 法
学

基礎科学)ユ
ニット②
統計学
セミナー(全
部)
化学
自然科学基礎
(化学)
自然科学基礎
(生物)

基礎科学)ユ
ニット②-2 社
会学

【評価方法の概略】 詳細は各科目のシラバスに記す。

レベルD: 臨床医学では学科目試験で評価を行い、基礎医学、社会医学ではこれに加え実習レポート、実習観察記録により評価を行う。

レベルC: 基本臨床実習EBM演習ではワークシート提出、SGLではTutorによる観察記録、医学入門③ではこれに加えレポート評価が加わる。

レベルB: CCにおいては指導医の観察記録、症例レポートにより評価する。

レベルA: 研究配属においては、実験ノート、指導教員の観察記録、学会発表などで評価する。選択CCにおいては指導医の観察記録、症例レポートにより評価する。

5. 科学的研究心と思考能力

4. 研究倫理に配慮した医学研究を遂行できる。

A

後期研究配属

研究配属

選択クリニカル
クラークシップ
(CC)

B

クリニカル
クラークシップ
(CC)

C

社会医学

臨床病態学

微生物学・免疫学

薬理学

衛生学・公衆衛生学

病理学
(解析人体病理学)

病理学
(統御機構・腫瘍学)

生理学(システム生理学)

生理学(生体統御学)

分子解剖学(発生・組織・分子細胞医学)

解剖学(生体構造学)

生化学・分子生物学(代謝・栄養学)

生化学・分子生物学(分子遺伝学)

特別プログラム
(2年)

医学入門)ユニット②行動科学 I

生物学実験

人文社会科学)ユニット①生命倫理学/心理学

基礎科学)ユニット④行動科学 II

D

基本臨床実習

統合臨床

行動科学 III

法医学

救急と生体管理

産婦人科学

運動・感覚

小児・思春期医学

行動科学 IV

医事法学

SGL(基礎科目)

頭頸部・耳鼻咽喉科学

眼科

皮膚科学

形成・再生・再生

基礎科学)ユニット①医療心理学

基礎科学)ユニット②統計学

精神医学

麻酔・集中管理・疼痛制御

基礎医学総論 I) 解剖学(生体構造学)

基礎医学総論 I) 分子解剖学(発生・組織・分子細胞医学)

数学)ユニット①数学

数学)ユニット②コンピュータ・リテラシー

E

循環器

消化器

呼吸器・感染・腫瘍・乳腺

神経・リハビリ

基礎医学総論 II) 生理学(システム生理学)

基礎医学総論 II) 生理学(生体統御学)

物理学

化学

生物科学

放射線医学

内分泌・代謝・栄養

アレルギー・膠原病・免疫

血液・造血器

基礎医学総論 III) 生化学・分子生物学(代謝・栄養学)

基礎医学総論 III) 生化学・分子生物学(分子遺伝学)

自然科学基礎(物理)

自然科学基礎(化学)

自然科学基礎(生物)

腎・泌尿器

臨床医学への基礎医学的アプローチ

臨床医学総論

SGL(臨床科目)

医学入門)ユニット③医学入門

人文社会科学)ユニット②-2 社会学

人文社会科学)ユニット②-3 法学

人文社会科学)ユニット②-1 哲学

セミナー(全部)

【評価方法の概略】 詳細は各科目のシラバスに記す。

レベルD: 基本的には客観試験により評価をし、一部の基礎科学、基礎医学、社会医学等では実習レポート評価が加わる。

医学入門②は出席をもって、2年次特別プログラムでレポートとはCITI Japanのe-learning受講をもって評価する。

レベルC: CCにおいては学会等の症例報告を想定したプレゼンテーションの観察記録、症例レポートにより評価する。

レベルB: 選択CCにおいては学会等の症例報告を想定したプレゼンテーションの観察記録、症例レポートにより評価する。

レベルA: 研究配属においては、実験ノート、指導教員の観察記録、学会発表などで評価する。

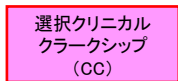
5. 科学的研究心と思考能力

5. 研究内容の位置付けや社会における役割を説明することができる。

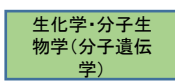
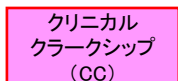
A



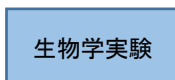
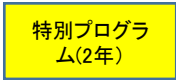
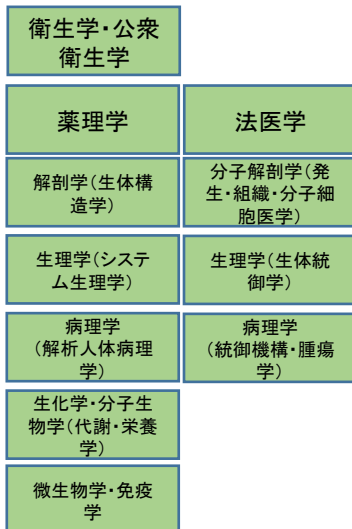
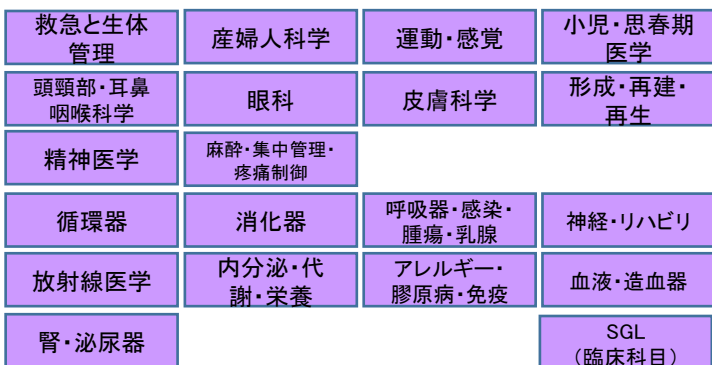
B



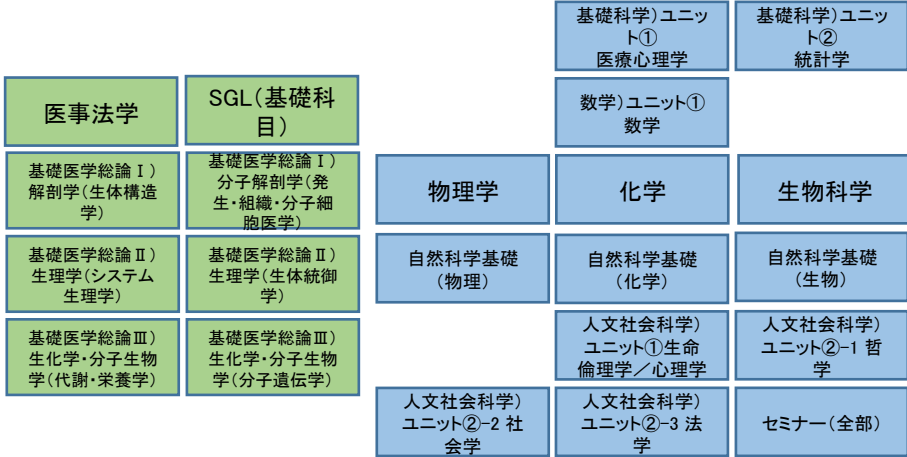
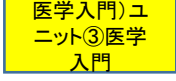
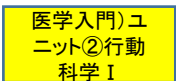
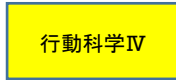
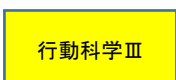
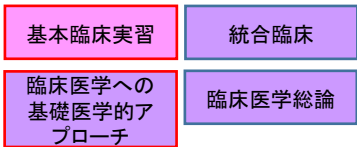
C



D



E



【評価方法の概略】 詳細は各科目のシラバスに記す。

レベルD: 一部の基礎科学、基礎医学、社会医学等では実習レポートと科目試験により評価を行う。2年次特別プログラムではCITI Japanのe-learning受講をもって評価する。

レベルC: CCにおいては学会等の症例報告を想定したプレゼンテーションの観察記録、症例レポートにより評価する。

レベルB: 選択CCにおいては学会等の症例報告を想定したプレゼンテーションの観察記録、症例レポートにより評価する。

レベルA: 研究配属においては、実験ノート、指導教員の観察記録、学会発表などで評価する。